秋田国際合気道フェスティバル 第12回国際合気道競技大会

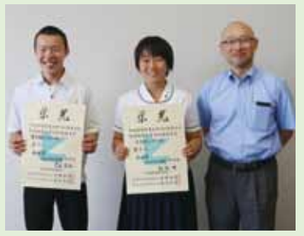
8月31日から9月3日にかけて田沢湖スポーツセンターを会場に「2017秋田国際合気道フェスティバル第12回国際合気道競技大会」が開催されました。仙北市出身の合気道競技の創始者・日本合気道協会創設者である富木謙治と合気道の普及に努めた大庭英雄の生誕の地での初めての開催となりました。国内外から約240人の選手が参加し、役員を合わせると600人あまりの過去最大規模の大会となりました。選手たちは、日頃の鍛錬の成果を発揮し、団体戦では仲間の選手を応援する声が飛び交いました。冨岡浩樹実行委員長は「いつか富木謙治師範と大庭英雄師範の生誕の地で開催したいと思っていたが、ようやく実現できた。ただ試合をするのではなく選手たちの交流の場であり、観光案内では仙北市を知っていただくことができ海外の選手に大変喜ばれた。これからも合気道を広めるように、活動を具現化していきたい」と話しました。

角中生徒がスポーツ各種大会で大活躍！

9月5日と28日、スポーツの各種大会で好成績を収めた角館中学校の生徒が、市役所田沢湖庁舎を訪れました。8月3日から5日に山形県で開催された平成29年度東北中学校体育大会「第40回東北中学校柔道大会」で、松本唯さんが女子57kg以下級で準優勝、児玉文汰くんが男子55kg以下級で5位に入賞しました。

また、8月29日に田沢湖畔で開催された「第47回大曲仙北中学校田沢湖一周駅伝競走大会」では男子が初優勝、「第22回大曲仙北中学校田沢湖女子駅伝競走大会」では女子が準優勝を果たしました。

さらに、9月24日に秋田市の県営陸上競技場で開催された全県駅伝競走大会では、男女ともに粘り強い走りでたすきをつなぎ、女子が準優勝、男子も5位入賞を果たしました。準優勝した女子は、11月に宮城県で開催される東北大会に出場します。



柔道部の 児玉文汰くん（3年）、松本唯さん（3年）、監督の広瀬文夫先生。（左から順に）

駅伝部の髙貝柊斗くん（3年）、髙貝拳汰くん（1年）、佐藤里緒さん（3年）、監督の草溝宏之先生。（左から順に）

新しい民生児童委員を紹介します

地域のご相談は、雲雀潔さん
☎（55）2802まで。

8月9日付けで、厚生労働大臣から雲雀潔さんに委嘱状が交付されました。雲雀さんは、下花園上・下を担当します。

地域の皆さんの福祉のため、これから活動していきます。

角館祭りのやま行事

曳山では艶やかな手踊りを次々と披露。

お祭りの醍醐味「やまぶっつけ」は迫力満点。

昨年11月「山・鉾・屋台行事」の一つとして、国連教育科学文化機関（ユネスコ）の無形文化遺産に登録された「角館祭りのやま行事（角館のお祭り）」が、9月7日から9日まで行われました。各丁内から武者人形や歌舞伎人形を飾った17台の曳山が7日、角館神明社を目指して出発しました。8日は、御座所（表町）で佐竹北家当主に全丁内がおやま囃子と艶やかな手踊りを披露。夕方からは町内6か所で観光用のやまぶっつけが行われました。9日は、曳山同士が道で出会うと、通行の優先権をめぐる交渉を繰り返し、決裂すると実力で通る本番のやまぶっつけが行われ、詰めかけた多くの観客から大きな歓声が上がりました。今野則夫実行委員長は「今年は大きな事故もなく無事に終了することができた。ただ、地元の方や観光客の方々よりたくさんの提言を頂いた。来年度以降改善できるようにがんばっていきたい」と話していました。

おやま囃子コンクール受賞者決定

9日に角館祭りのやま行事実行委員会本部前で実施した表彰式の様子です。

9月8日、佐竹北家上覧時に、各町内の山車が一堂に会し、おやま囃子コンクールが開催されました。厳正な審査の結果、次の方々が各賞を受賞されました。（敬称略）

《囃子部門》
▼最優秀賞（角館のお祭り保存会長賞） 横町若者 角館山本組 代表 山本善英
▼優秀賞（角館町観光協会長賞） 西部若者 秋月会 代表 藤原勇悦
▼優秀賞（仙北市商工会長賞） 桜美町若者 飾山囃子弘道流奏秋会 代表 水平幹人

《手踊り部門》
▼最優秀賞（角館のお祭り保存会長賞） 駅通り若者 藤美会 代表 藤原ミサ子
▼優秀賞（角館町観光協会長賞） 西勝楽町若者 藤美会 代表 藤原ミサ子
▼優秀賞（仙北市商工会長賞） 西部若者 藤美会 代表 藤原ミサ子

次世代に継承していくための取組み

抱返り案内冊子を作成

このほど、神代地域運営体が抱返り地区のことを皆さんにもっと知っていただこうと、昭和55年9月26日に古郡蔵之助氏が発行したものを当家から当時の冊子を提供していただき、抱返り地区を中心に抜粋した「抱返り案内冊子」を作成しました。古くからの言い伝えや様々な名跡が紹介されており、この冊子を片手に、景勝地を散策してみてほしいとの願いが込められています。

神代出張所の窓口では、冊子は無料で観光客や地元の方々に提供しています。部数に限りがありますので、ご利用される方はお早めに。